

教育相談部

部長：多田羅 明子

副部長：菊井 浩之

(1) 今年度の目標

- ①生徒の実態を把握し、問題を抱える生徒に適切な対応を図る。
- ②関係職員、保護者、専門機関が共通理解のもとに連携をとる。
- ③研修活動を充実する。

(2) 主な取り組みの計画

- ①生徒の実態を把握する。
 - ア 心理検査を実施する。
 - イ 学級連絡票（聞き取り調査）を行う。
 - ウ グループカウンセリングを実施する。
 - エ 保健室利用生徒から、心に問題を抱える生徒を把握する。
- ②連絡会をもつ。
 - ア スクールカウンセラーと関係職員との連携を密にする。
 - イ 特別支援教育委員会との協働を図る。
- ③職員、保護者への支援を行う。
 - ア スクールカウンセラーや専門機関と連携をはかり、適切な支援を行う。
 - イ 現職教育を実施する。

(3) 成 果

学級担任を始め関係職員の間で連絡会を適切に行うことで、具体的な解決への道筋が見えてきた。

また、スクールカウンセラーと連携し、専門家からのアドバイスによって客観的に生徒や保護者を理解し、冷静に問題に対処することができた。

(4) 課題と次年度以降の改善策

登校することに困難を抱える生徒や不登校状態の生徒へ、どのように支援すればよいか課題である。

学校、家庭、専門機関における役割を活かして協働し、該当生徒へ働きかける対策を講じ、改善していかなければならない。